



「桜島のみんなとつながる」を目指して さくらじま便り

SAKURA
JIMA
DAYORI
第4号
2021年6月発行

「春季全国火災予防運動」に伴う消防演習の様子（桜島港フェリーターミナル）
写真：鹿児島市消防局 中央消防署 提供

CONTENTS

「特集」

**桜島の
消防団 団結！**

火山の島の暮らしを支える
影のヒーロー達が集合

今月の桜島人

桜島の女性消防団員さん

桜洲・桜峰校区
コミュニティ協議会

七草祝い

お知らせ

大学生の
キョンスポット

発行・編集 / さくらじま地域おこし協力隊
Photo・Editor / Akane Masudome
Design / Yurina Yamashita

冊子をおいて頂ける場所、応援していただける方を募集
しております。感想も大募集中です。

| 感想・ご意見・ネタ |

専用ポスト（桜島・東桜島公民館、ミナトカフェ）へ投函、
公式ライン、または下記まで。

TEL 099-245-2550(増留)

MAIL a.masudome@sakurajima.gr.jp

桜島の 消防団 結団!!!

火山の島での 暮らしを支える、 影のヒーロー達が 集合!



令和三年三月七日(日)、横山町の桜島港フェリーターミナル構内にて、消防演習が大規模に行われました。

本演習は、三月一日からの一週間にかけて全国一斉に行われる「令和三年春季全国火災予防運動」の一環として実施されており、これは火災が発生しやすい時季を迎えるにあたり、啓発を目的とした火災予防意識の普及を図り、火災発生を防止することを目的に毎年実施されているものです。

このような毎年行われる演習は、その年によって内容が変わり、今回は桜島港フェリーターミナル構内での消防演習ということで、重機隊、水難活動支援隊、山林活動支援隊、さらにドローン隊を含めた消防団員など関係者一〇〇名近くが活動服に身を包み集合した港は、いつものその姿とは違う場所のように見えました。

午前八時、背筋をスツと伸ばし整列した団員がそれぞれ配置に着き、一斉敬礼、そして一斉放水が開始されました。十二台の消防車からの一斉放

水では、日ごろの訓練の成果ともいえる美しい弧が左右から描かれ、見るものを圧巻する光景でした。

島民の数が減少していく中で、新たな世代に地域を支える活動に関わって欲しい、そんな想いを持つ桜島西分遣隊の前隊長の方からお声がけいただき、今回書かせていただくことになった本記事。

今回は雨ということもあり、この演習を目にするのが出来た方は多くはなかったかもしれませんが、消防団のこんな姿を子ども達が目の当たりにしたら、きっと憧れを抱くお子さんもいらっしゃるのではないでしょうか。

方も、地域の隠れたヒーローの一人かもしれませんよ。

地域をこういったかたちで支えることに興味がある方、随時団員募集されているそうですので、まずは是非地域の分遣隊や団員の方にお話を伺ってみてください！



鹿児島市消防団 桜島分団

鹿児島市消防団 西島分団

女性消防団員というのですが、日ごろのお仕事は？

平日は、島内の運輸会社で事務を担当していて、二児の小学生の母でもあります。

女性消防団員となった経緯を教えてください。

もともと、東桜島の湯之の出身で、父はそこで消防団員として活動していて、制服を着て行進する出初め式や、日頃の活動の様子に、子どもの頃から「かっこいい」と思いながら、無意識に興味を持っていました。そうして、さくらじまで結婚し、夫も地域の消防団員として活動するようになり、放水訓練大会を見に行ったり、そこから全国大会のような動きを見たりするなど、より活動のすごさに感心していました。

そんな中、思いもよらぬ出来事が起こりました。当時三歳だった娘が、家のお風呂場で溺れたんです。私は横にいたし、浴槽の中の水は決して多くはなかったのに、ほんの数秒のことでした。急

第三回 今月の桜島人

柴田麻子さん

現在、鹿児島市の消防団の中で、約五十名の女性消防団員が活躍しています。そのうち三名が桜島で活躍されているということで、今回はそのうちのお一人をご紹介します。



ママ、応援してるよ!

桜島に住んでいる人や関わっている人を、人から人へ紹介し繋いでいくコーナー

編集部からのコメント/物腰柔らかく、人に癒しを与えるような明るく優しい声と表情からは想像できない消防団員という一面をお持ちの柴田さん。あきらめなかつた「自分の決断」と同じ志を持つ「仲間」という存在を得られたことが、柔らかな印象のなかに見える、芯の強さを醸し出していました。「女性消防団員」という決断は、柴田さん自身にもたらした変化だけでなく、手を差し伸べて欲しい時に寄り添ってもくれる人の存在によって、地域に生活する方々にも安心感をもたらしてくれるのではないのでしょうか。消防団員、随時募集中ですよ!

日頃の女性団員の活動や現場での役割を教えてください。

所属する地域にも寄りますが、一般的に消火・防災訓練への参加、子ども達に火事の怖さなどを知らせてもらうために、保育園や幼稚園、学校で行う防火啓発活動、また企業などでは救命講習会を行っています。また、火災予防のために、地域を巡回して回ることなどもあります。

団員になってからは、私も救命講習を受け、鹿児島市内にいる女性団員で行う定期ミーティングに参加し、活動の進捗などを共有しています。メンバーは、専業主婦から医療従事者、そして大学生など、立場も年齢もバラバラです。

二〇一八年に発生した西日本豪雨では、桜島でも大きな被害を受け、島内の女性隊員二名も出勤し、現場で食事の補助などを行いました。やはり、力がある仕事だと女性には限界がある部分もありますが、実際の現場ではなく、救助された方への対応や避難先などで求められる視点というのは、その現場を担う私達だからこそできること。また、『気遣い』というのも、災害現場なので、不安を抱える方々にとっては、安心していただけることの一つです。また、女性ならではの物腰柔らかかな声は、緊迫感ある現場や避難先などで、安心感を持ってもらえるように、「声を掛けやすい」と言っていただけです。

満を持して消防団員になってみて何か変化はありましたか？

まず言えるのは、生活の中での物事の見え方や自分の意識が変わったことです。体調が悪い方をみかけると、以前は「気にならなけれど、どう声を掛けて、何をしたらいいのかわからない」、そんな感じでした。それが消防団員になって、例えばそういう方をお店などで見かけると、お声がけし、お店の方にも声を掛け、協力を得ながら

女性消防団員になって思うことや気づき、皆さんにお伝えしたいことは？

消防団員に入るまでは、父や夫の活動の様子も見ていたので、「子どももいるし、自分には団員になるのは無理かも」と思っていました。それでも、思い切っ

少しでも寄り添った対応ができるよう、その勇気を持てるようになりました。私も以前同じように、外出先で体調が悪くなった経験があり、意識ももうろうの中、一生懸命声を掛けてもらったことが、今でも記憶に残っています。

「こいつこいつを言うのは恥ずかしいのですが、やってみたいことや、興味があるものにチャレンジしようとする気持ちを大事にして欲しい」と今は思います。自分には無理」と当時は思っていた私ですが、今は仲間ができて、チャレンジしてみてもいいかなって思っています。



ほかの地域では何してるの？

地域の記録

七草祝い

桜洲校区・桜峰校区
コミュニティ協議会

年明けの一月七日、月讀神社にて桜洲・桜峰それぞれのコミュニティの七草祝いが行われました。桜洲からは十二、桜峰からは七名の晴れ着を着た子ども達が玉串を奉納し、これからの健やかな成長を家族とともに祈りました。また、各コミュニティ協議会の会長より記念品が子ども達に贈られ、緊張でこわばった顔に笑みがこぼれていました。皆さん本当におめでとございます。

お知らせ



さくらじま
便り
公式ラインのお友達
になってください！

公式ラインは引き続きお友達募集中です。NetMessageを簡単に送っていただけます。色々配信予定！



桜島公民館
図書室

参加者募集
夏のおはなし会
と七夕飾り制作

事前申込
桜島公民館図書室
099-293-2725

司書さんが選び抜いた絵本を読み聞かせしてくれるおはなし会。七夕が近いので、お家で飾れる七夕飾り制作もお楽しみに。

ビジターセンター

お家に余っている手提げ付き紙袋ありませんか？

横山町にある桜島ビジターセンターでは、同センターを訪れ、お買い物されるお客さまへの品物のお渡しに、他のお店でもらって使わないままの紙袋を、再利用して使用しています。環境保全の一環として、プラスチック袋も有料化し、世界レベルで世の中が動き始めている今、ご自宅の紙袋の提供で、エコバックの利用だけではない環境に優しい一歩を行ってみませんか？

- ◀ 集めているもの
手提げ付き紙袋
- ◀ サイズ
特に指定はありません
- ◀ 状態
袋が濡れたり、汚れたりしていないものをお願いします



ドライブインの大きな
桜島大根の通るたびに
目を惹かれますね



PHOTO-01

橋の周囲にいたねちゃん
たち。ハイチーグで、
目をつむって来ています！



PHOTO-02



キヨンスポット

桜島にインターンでやってきた大学生第三号で掲載が独自の目線で桜島の素敵スポットをご紹介します！

さくらじま便りとは

本誌は、桜島に住みながら、そこで見つける日常の素晴らしさや面白さを移住者視点で発見・発信することで島内外の皆さんと繋がりたいという想いから始まったものです。月一回、回覧板で島内の皆さんに本誌を見ていただく機会を作らせていただいています。今後も地域の皆さんと繋がらせていただきながら、一緒に本誌を作成し、桜島の良さを多くの方に伝えていきます！

編集後記

まずどもあつという間にさくらじま初めての梅雨の時期になりました。想像以上の雨に、慌てて梅雨対策をしているところです。さくらじま暮らしでの、この時期の工夫とかあれば、ぜひ教えてください！やました／周りに本誌の感想や、回覧板でみれたかどうか、などいろいろなことをお伺いしまくっています。ご協力ありがとうございます。引き続きよろしくお願いいたします(笑)